

## 宮崎県都城市

### 農事組合法人 「きらり農場高木」

代表理事組合長 中之丸新郎氏より説明をいただいた。農業者の高齢化、農家の後継者不足が懸念され、昭和62年度任意組織「高木営農改善組合」を組織、受託作業を中心に経営支援を図る。

税制面で「みなし法人」と判断されるなど種々の問題が発生。クリアするため、農事組合法人「きらり農場高木」を設立、受託作業を行っている。今後、長期利用権設定面積を拡大、農産物の加工、観光農園・体験農園の運営、研修生の受入れ等多角化を図り、地域活性化の主体となることで地域農業、農村社会の発展を目指すとのことであった。本町においても、水を使った生産性の高い農業、付加価値の高い作物の導入を目指す一方、基幹水利施設管理事業や担い手



「きらり農場高木」について経営状況の説明（都城市役所）

育成支援事業など様々な形で負担軽減を図ると同時に国内外の現状に目を向け、将来の長期展望を見据えながら、農家の安定した農業収益の増大と日本の食糧生産基地としての自負を維持すべく官民一体となって考える必要があると痛感した次第である。

**新年明けまして  
おめでとうございます。  
今年一年よろしく願いいたします。**



新年明けましておめでとうございます。  
ます。

平成二十年の幕開けにあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年、統一地方選挙の年でもあり、議員定数も二十名から十六名となり、議員の構成も変わり、新たなスタートを切った年でもありましたが、皆様のご支援、ご協力を賜りまして町政の発展に寄与することができましたことを改めて心から感謝申し上げます。

地方行政においては、大きな変革の時期に遭遇しており、本町におきましても厳しい財政事情の中、あらゆる行財政改革を行いながら町政運営を行っているところであります。

私ども十六人の議員といたしましては、町長の指導による町政執行がスムーズに行きますよう、議決機関としての議会の機能を十分に発揮して町民の皆様の信託とご期待に添うべく努力してまいります。

最後に、町民のみなさまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

大崎町議会